

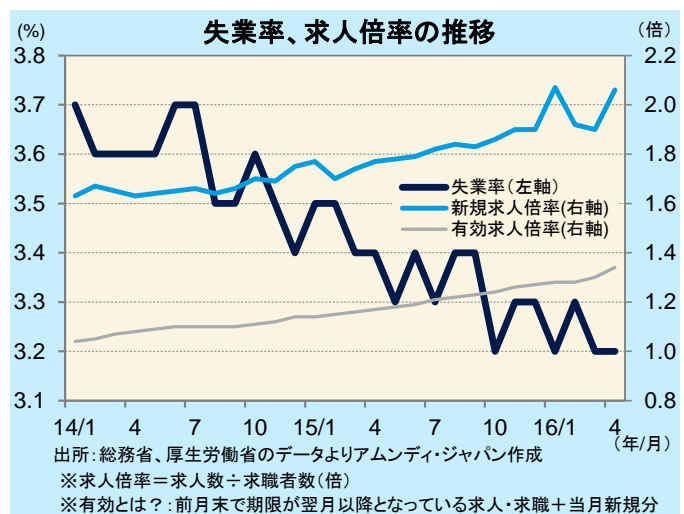
4月の雇用・物価情勢(日本)

- ① 4月の失業率は3.2%と前月比横ばいでしたが、求人倍率が有効、新規共に急上昇しました。
- ② 4月のCPIコアコア指数は前年同月比+0.7%で前月と変わらず、+0.5~1.0%での推移が続きます。
- ③ 長期化する労働需給のひっ迫を背景に、所得・物価環境がさらに改善していくことが期待されます。

人手不足の様相強まる

本日、総務省が発表した4月の失業率は前月比横ばいの3.2%でした。また、厚生労働省が発表した4月の求人倍率は、有効が前月比+0.04ポイントの1.34倍、新規が同+0.16ポイントの2.06倍と、いずれも大きく上昇しました。

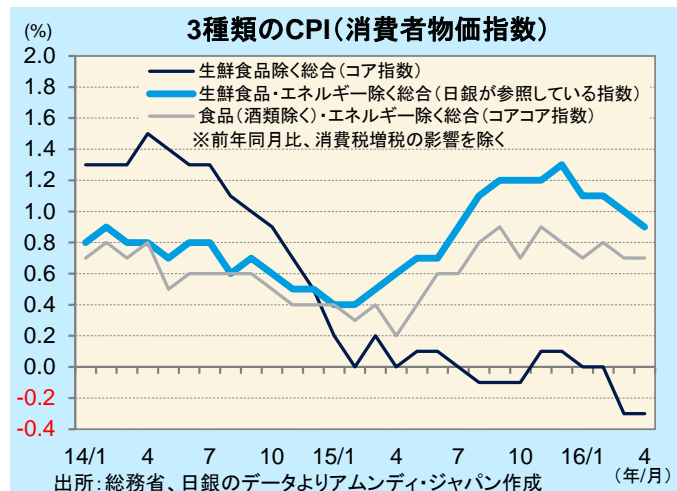
求人が増加傾向なのに対し、求職は減少傾向にあり、労働需給のひっ迫度合いが強まっています。ところが、求人する雇用主側がどの程度人員を集められているかを示す「充足率(就職数÷求人数)」は6.0%(有効ベース)と、91年12月以来の低水準です。このところ、就業者数が微増にとどまっていますが、企業が思ったように人を雇えなくなっていることが背景にあるように思われます。これは、今後さらに賃金が押し上げられることを示唆していると見られます。



所得環境改善によるインフレ率押し上げに期待

5月27日に総務省が発表した4月CPIは、コアコア指数が前年同月比+0.7%と、半年以上+0.5~1.0%が続いています。

15年後半から、円安のインフレ率押し上げ効果が剥落し、年明け後は円高で逆にインフレ率が押し下げられる方向に変わりました。特に、食料にその影響が出ていると見られ、日銀が参照する指数(生鮮食品・エネルギー除く総合)に表れています。ただし、コアコア指数を見る限りインフレ率は安定しており、所得環境が今度さらに改善する兆候が出てきている中、インフレ率は徐々に押し上げられていくと期待されます。



当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時:購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時:信託財産留保額[最高料率1.0%]

投資信託の保有時:運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第350号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。